～幡多地区新採用職員の紹介～

令和2年度は、幡多地区に9人の新採用職員が配属されました。
組合員、地域の皆さま、よろしくお願いします。

① 岡添 大樹（25）
② 中村南部出張所
③ 忍耐力
④ 魚釣り
⑤ 全力で頑張ります。

① 川上 将吾（18）
② 営農指導課 北幡営農センター
③ 何事も最後までやり遂げる
④ 野球・ソフトボール
⑤ 分からないことだらけで、最初は色々と迷惑をかけると思いますが皆様の役に立てるように努力していきます。

① 藤本 紗加（18）
② 幡多地区 十和支所 販売経済課
③ 真面目に取り組む
④ 写真を撮ること、散歩、スポーツ
⑤ 早く仕事を憶えて、周りから信頼される職員になります。

① 安田 翔太（18）
② 幡多地区 中村支所
はた営農経済センター 中村経済課
③ 誰にでも優しく接することができる
④ 釣り
⑤ 一生懸命頑張ります。

① 細木 康仁（22）
② はた営農経済センター 営農指導課
③ 積極性です。分からないことなど積極的に学習したいと思います。
④ プロ野球観戦です。特に日本ハムファイターズのファンです。
⑤ 皆さんに信頼してもらえるような職員となれるよう頑張ります。

① 今井 志音（22）
② 幡多地区 三原支所
信用・共済課
③ 集中して物事を取り組む
④ 音楽鑑賞・映画鑑賞
⑤ JA職員として、業務を行う中で常に目的や目標を意識し、仕事に従事します。

① 蒲原 和之（22）
② 中村支所 共済課
③ 周りへの気配りができる。
④ スポーツをすること。
⑤ 笑顔で頑張ります。

① 橋本 太郎（23）
② 幡多地区 地区本部 企画組合員課
③ 人と話すこと、関わることが好き。
④ 野球・TVゲーム類
⑤ 今までの社会人としての経験を活かし、臨機応変そして柔軟に事案に取り組みたいです。

① 白石 羽衣歌（20）
② 中村支所 信用課
③ 好奇心が旺盛
④ 散歩・読書・ゲーム
⑤ 常に色んなことにチャレンジしていきます。

① 名前
② 配属部署
③ 長所
④ 趣味
⑤ 意気込み
宜しくお願いします!!

幡多地区から こんにちは 今月の○○ 気になる人

中村支所管内より

働くことは、健康を守ること

（右）小松（こまつ） 金吾（きんご）さん（90）
（左）　　重子（しげこ）さん（90）

（金吾さん）
18年ほど前から鮮魚店を営んでいます。90歳になった今でも元気に仕事を続けているのは、自分の健康を守るためです。若者に負けず、まだまだ頑張りたいと思っています。何もしないでいるのは、性に合いませんから。

（重子さん）
昔のことですが、15年ほど中村の選果場に勤めていたことがありますよ。ミニトマトやキュウリを担当していました。今は魚や雑貨を売っていますが、「中村で一番安いお店」と褒めてくれるお客さんもいます。主人と二人三脚、毎日笑顔で頑張ります。

宿毛支所管内より

良い野菜は良い苗から

（右）山本（やまもと） 正博（まさひろ）さん（52）
（左）　　マミさん（49）

12年ほど前から、苗を作りＪＡへ出荷しています。お客さんが希望する品目を聞き入れながら毎年少しずつ規模を拡大していき、今ではピーマンやナスなど35種類以上の苗を出荷しています。

良い苗を作るためには、まず自分たちでその品目を育ててみること。私たちは、この過程が大切だと考えています。実際に栽培し、その野菜を理解しないことには、良い苗など作ることはできません。

苗を買っていただいたお客さんと一年後にまた会うとき、「去年の苗良かったよ！　また今年もよろしく」と言ってまた苗を買っていただけたら、これ以上の喜びはありません。より多くの方に喜んでもらえるよう、これからも良い苗づくりに邁進していきたいと思います。

Iターンで高知へ

杉本（すぎもと） 雅子（まさこ）さん（50）

大阪から高知へ越してきて、もう15年ほどになります。高知に来た当初は、収入や知識などの面で農業に対しての不安がありましたが、今ではズッキーニやシシトウを4アールで栽培し、毎年JAへ出荷しています。

農業をしていて最近少し心配なのは、体力の衰えですかね。でも、まだ中学生の子どもがいますし、これからもバリバリ頑張っていこうと思います。ワンちゃんも3匹いるので、その子たちも養っていかないといけないですしね。

大正支所管内より

主人を気遣う淑女なの

田辺（たなべ） 花（はな）ちゃん（3）

生まれたばかりの頃、徳島から高知に引っ越してきたの。美味しいご飯をたくさん食べて、主人にたくさん可愛がってもらって、3年間ですごく大きくなったわ。

日課のお散歩は、いつも主人と一緒なの。私はとってもいい子だから、リードをぐいぐい引っ張ったりなんて、絶対しないのよ？　主人の歩くスピードに必ず合わせてお散歩するの。たくさん歩いて主人が疲れたら、2人で一緒に一休み。淑女なら当然よね。

大正支所管内より

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

購入した花束を受け取る職員

1 地区本部

「幡多の花」緊急即売会実施

幡多地区は4月30日、新型コロナウイルスに伴うイベント等の自粛の影響で需要が大きく減少している花き類の生産者を支えようと、同地区の役職員を対象に「地元『幡多の花』を買って応援」緊急即売を実施しました。

幡多地域では、一部産地において花の売れ行きが伸び悩み、廃棄せざるを得ない深刻な状況にあります。今回はそのような現状を打開しようと急遽の実施を決定し、役職員一人ひとりができる身近な取り組みとして地元の花を買い、生産者を応援しました。

この日は、ダリア、デルフィニウムなど5種類計3165本を販売。届いた花の中には「長い間花き栽培に携わってきて、初めてのつらい経験をしています。その中でこのように助けていただき、誠にありがとうございました」とのメッセージが添えられており、メッセージを読んだ職員はJAと生産者の深い繋がりなどを再確認していました。

酒米を植える児童ら

2 中村支所

純米吟醸とみやま・酒米植え付け

四万十市富山地区のとみやま酒米生産部は5月28日、純米吟醸「とみやま」の酒米の植え付けを行いました。同地区の小中学生や保育園児ら30人が招かれ、同生産部の西村悦男部長が所有する水田約12アールへ酒米「吟の夢」を植え付けました。今年は部員6人が約1.8ヘクタールで酒米を栽培し、9月下旬ごろの収穫を目指します。

「とみやま」は同市にある藤娘酒造が、同生産部が栽培した酒米を原料に醸造します。販売はオーナー制度を採用し、今年は前年並みの600口ほどを予定しています。

毎年、食農教育の一環として地元の児童らを招き行われているこの植え付け体験は、今年で20回の節目を迎えました。西村悦男部長は「吟の夢の栽培は、おかげさまで無事に20年目を迎えることができた。生産者の高齢化は免れないが、自分がやれる限りは頑張っていきたい。」と話しました。

「とみやま」は、フルーティーな風味が特徴的な日本酒。発酵期間の長さによってその味わいが変化し、飲み手を飽きさせません。

3 中村支所

ハウス新ショウガ出荷始まる

選果、箱詰めされるハウス新ショウガ

中村支所では5月18日、例年より一足早く「ハウス新ショウガ」の初出荷が行われました。

同支所管内では現在、同支所生姜部会の部員22人がハウス新ショウガを栽培・出荷しており、作付面積は5ヘクタール。出荷初日のこの日は、約660kgが出荷されました。幡東営農センターの横山栄和指導員は同部会について「圃場での現地検討会や目慣らし会を通して、各部員が品質向上に努めている」と話しました。

ハウス新ショウガの出荷は6月中旬から8月上旬ごろにピークを迎え、9月中旬ごろまで続く見込みです。

4 大方支所

ラッキョウ最盛期・出荷ピークに

次々と箱詰めされるラッキョウ

大方支所では5月上旬現在、ラッキョウの出荷がピークを迎えています。

同支所は、例年より一週間ほど早い4月18日から早出し出荷を開始。本格的な出荷は5月上旬から行われ、現在ピークを迎えました。

幡東営農センターの森田速斗指導員は今年のラッキョウの品質について、「一部では病害虫による被害が多くなったり、環境条件によって圃場ごとに生育差がでたりしているが、品質に関しては全体的に良好。分ケツ数も例年に比べやや多く、M玉中心の収穫となっている」と話しました。

ラッキョウの出荷は、引き続き6月上旬頃まで行われます。

5 宿毛支所

地域の子どもたちのために・味噌づくり

出来上がった手作りの麹をボウルに移す部員ら

幡多地区宿毛さくら味噌加工部は5月28日、宿毛市立学校給食センターへ提供するための味噌づくりの最終仕込みを同市で行いました。

昨年、同給食センターから宿毛市を通して味噌の製造・提供の依頼があり、地域の子どもたちの給食を支えようと同部が取り組みを開始。今年で2年目となりました。

「手作り」を大切にし、原料もすべて国産で、中でも米は地元の宿毛産を使用します。同部の伊与田末子部長は「給食センターを通して子供たちに『安全安心でおいしい味噌』が届けられるよう、益々頑張っていきたい」と熱意を示しました。

6 地区本部

「農」を身近に・農業実習実施

農業実習で汗を流す職員ら

幡多地区は、農業をもっと身近に感じてもらう事を目的に、今年度入組した新採用職員と昨年度採用の職員を対象に農業実習を行っています。初回は5月28日に行われ、同地区が借り入れている四万十市の市民農園約3.6アールの除草作業を実施し、21人が参加しました。

実習を終え、はた営農経済センター営農指導課の細木康仁さんは「小範囲の草刈りだったが、想像より大変だった。大規模な圃場の整備を行う農家の方の苦労を考えると、改めてその大変さを知った。」と取り組みの意義を感じていました。

サツマイモ「土佐紅」の植え付けを第2回目として計画しており、計4回ほどの実習を予定しています。

役立つ！ 得する！ 情報

えいのう～

「ツマジロクサヨトウ」に注意しましょう

■幡多農業振興センター　岩橋理紗（0880-34-7070）

ツマジロクサヨトウは、南北アメリカ原産の農業害虫で、日本では2019年7月に初めて発生が確認され、高知県内でも8月にスイートコーンほ場で発生が確認されました。

1 寄主植物

イネ科（イネ、トウモロコシ、サトウキビなど）、ナス科（トマト、ナスなど）、ヒルガオ科（サツマイモなど）、マメ科（大豆など）などの広範囲な作物に寄生します。

日本では、飼料用トウモロコシをはじめ、スイートコーン、ソルガム、サトウキビ等のイネ科作物での発生が確認されています。

2 被害

幼虫は植物の葉、茎、花、果実を加害し、特に生育初期の柔らかい葉を好み食べます。（写真1、2）

食害部には多量のふんが見られます。

3 特徴

幼虫は最大で4㎝前後の大きさになり、頭部中央に淡褐色の網目模様と淡色の「逆Y字」の紋があります（写真3）。

また、尾部に黒色の斑点があるのが特徴です（写真4）。

4 防除対策

短期間で大きな被害が発生するので、早期発見・早期防除に努めてください。また、発生が確認されたは場では、薬剤による防除を行ってください。

写真1
スイートコーンの被害

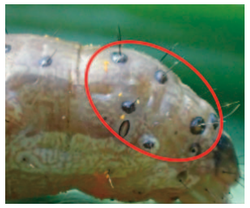


写真4
ツマジロクサヨトウ幼虫（尾部）

写真3
ツマジロクサヨトウ幼虫（頭部）

写真2
スイートコーンの被害

表1【未成熟トウモロコシ（スイートコーン）に登録のあるチョウ目害虫防除剤】
（高知県病害虫防除指針より抜粋）

系統	農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数
合成ピレスロイド	アグロスリン乳剤	1,000倍	収穫７日前まで	３回以内
	トレボン乳剤	1,000倍	収穫７日前まで	４回以内
ネライストキシン	パダンSG水溶剤	1,000倍	収穫21日前まで	２回以内
有機リン	エルサン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで	４回以内
ジアミド	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫前日まで	２回以内
	プレバソンフロアブル５	2,000倍	収穫前日まで	３回以内
マクロライド	アファーム乳剤	1,000～2,000倍	収穫３日前まで	２回以内
BT	ゼンタリ顆粒水溶剤	1,000倍	発生初期、但し収穫前日まで	—

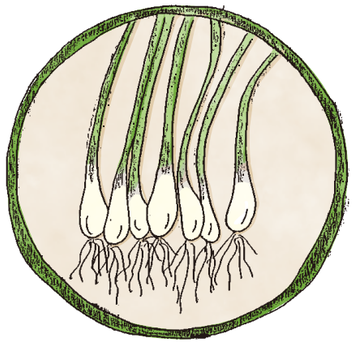
上記の農薬はツマジロクサヨトウに対する登録はありませんが、植物防疫法第29条１項の規定による防除を行うために使用する農薬として使用できます。

引用、参照：高知県病害虫防除所　令和元年度病害虫発生予察特殊報1号

疑わしい虫を見つけた場合は、幡多農業振興センターまでご連絡ください。

初心者（家庭菜園）向け

ラッキョウを作ろう!



作り方のポイント

❶良質の種を使用しましょう。
（ネダニ等病害虫のついてない、１球5g程度の硬くしまったもの）
❷畑は深く耕し、また、水はけの良い土壌を選びましょう。

【年間の作付計画】　●:定植　■:収穫

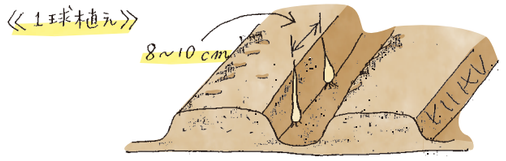
品種	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
らくだ	●	～	●							■		

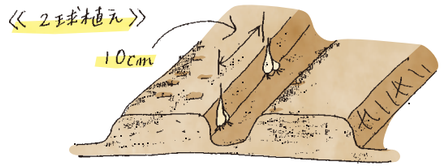
① 畑の準備

ラッキョウは土質を選びませんが、球の色沢、ち蜜さなどの品質では砂土が優れています。植え付けの7～10日前まで1㎡当り苦土石灰100g、特777SP200gをいれてよく耕していきます。

② 植え付け

1. 種球は、1㎡当り400g程度必要です。
2. 条間25㎝、株間は1球植えの場合8～10㎝、2球植えの場合は10㎝とします。





3. 植付けの深さは、6～8㎝とします。浅いネダニの発生が多く、深いと分球が少なくなります。
4. 植付ける時には、柔らかく感じる球は、病害虫に侵されている恐れがあるので、出来るだけ植えないようにします。

③ 追　肥

●年内に3～4回程度（つきに1回程度）、CDU555を1㎡当り20g入れ,軽く条間を耕しておきます。
●最後の追肥は、1月頃に施します。

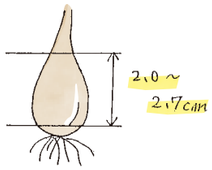
④ 土寄せ・収穫

●球が地表に出ると緑色になるため、3月中旬頃より、十分土寄せを行います。
●収穫は、地上部の葉色が薄緑色に引いてから収穫すると硬くしまったものが獲れます。

収穫は晴天の続いた日を選び、株ごと掘り起こします。土壌の水分が多い状態で収穫すると、ラッキョウの色つやが悪くなり ます。

⑤ 収穫後の処理

《収穫時の切り方》



収穫後、右図のように切り、食塩水（水10Lに食塩600g）に15分程度浸漬すると、再発芽を防ぐことが出来ます。

⑥ ネダニの被害

ネダニの被害を受けると、生育が悪くなり、枯れて球の皮だけ残って中身が少なくなります。これはネダニに食害され二次的に病気に侵されたものです。ラッキョウ栽培の大敵はこのネダニだといっても過言ではない程被害が大きくなります。

⑦ 次年度の種球の確保

定植直前まで圃場にて栽培管理します。（植付け面積の約1/4の面積が必要です。）

★薬用植物として古くから利用されており、ラッキョウに含まれるアリシンは、ビタミンB1を吸収しやすくし、健胃・殺菌発汗・利尿・駆虫などの効果が認められています。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

コロナの影響で長い間休校になり、寮を離れ三ヶ月ほど実家に帰りました。その間に偶然にも牛の出産に立ち会うことができ、学校では教われない素晴らしい体験ができました。
（大月支所管内・18歳）

▼とても有意義な在宅学習となりましたね。学校に通えず、勉学面の不安が尽きないとは思いますが、お家での時間を有効に活用していますね。

おいしさが長持ちする冷凍保存術のおかげで、大切な野菜を美味しく食べられ、とてもうれしいです。これからもたくさん野菜を食べて元気に過ごしたいです。
（中村支所管内・90歳）

▼時間が経ってもおいしく食べられるのは、とてもうれしいですよね。読者の皆様に有益な情報を届けられるよう、これからも努めてまいります。

こうぐり5月号に掲載されていた「新型コロナウイルスへの冷静な対処を」を読み、理解が深まり落ち着くことができた。見えない敵にあたふたすることなく、ひとりひとりが出来ることをしっかりやり続けることが大切だと思いました。
（西土佐支所管内・71歳）

▼おっしゃる通りだと思います。過度な警戒は余計な混乱を招くと思います。一人ひとりが冷静さを失わず、落ち着いて行動していきたいですね。

コロナで気分が滅入っていたところに、ふと仁淀川の花桃の写真が目に留まり、とてもきれいで、花が大好きな自分はすごく癒されました。一度行ってみたいです。
（三原支所管内・77歳）

▼なかなか気が抜けない毎日で、さぞ疲れも溜まることでしょう。来年の春にはコロナも終息し、現地に赴いて満開の花桃がみられる日が来ると良いですね。

コロナの影響でGWも孫たちが帰らず、時間ができ、野菜の苗を植えました。孫たちに収穫させたいと植えていたジャガイモとタマネギも、一人での収穫に。お盆のころには、トマトやナスを孫が収穫できればいいのですが・・・。
（宿毛支所管内・60歳）

▼お孫さんも、野菜が収穫できるのを楽しみにしていたのではないでしょうか。夏の収穫のためにも、トマトやナスにはぐんぐん育ってほしいですね。

前回、読者プレゼントに初めて応募したところ当選し、とても嬉しかったです（笑）室戸の野菜だったので、高知の両端同士、思いを馳せながら頂きました。美味しかったです。これからはどんどん応募しようと思います。
（宿毛支所管内・61歳）

▼応募していただきありがとうございます。そして、初応募でのご当選おめでとうございます。こうぐりでは毎号、読者プレゼントを企画しています。皆様のご参加お待ちしております！

INFORMATION

お知らせ

大規模直販所「とさのさと」へ出荷してみませんか？

高知市北御座にある大規模直販所、「とさのさと」への出荷希望者を対象に下記の日程で説明会を開催いたします。農産物、加工品などの出荷をご希望の方は、ぜひお越しください。

日　時　令和2年　7月30日　13：30 ～

場　所　JA高知県　幡多地区本部3F　中ホール

説明内容
1. 出荷に係る手続き等について
2. その他
3. 質疑応答

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
皆様のご参加、お待ちしております。

株式会社とさのさと　直売課　沼・清水　TEL：088−878−8722